

視察研修・研修会等報告書

議席番号 (3) 議員名 (桜井 恵 二)

- 1 年 月 日 平成30年8月29日(木)・30日(木) (日数 / 泊 2日)
- 2 場 所 29日(木)宮城県加美町 30日(木)山形県米沢市
- 3 視察、研修事項 (1)加美町 地域新電力会社(株)かみでん里山公社 設立について
- 4 面 接 者 町長 猪股 洋文氏、協働のまちづくり推進課長 三浦氏
- 5 視察研修、研修会の成果

加美町は平成15年4月1日に、中新田町、小野田町、宮崎町が合併し「加美町」となりました。中新田の虎舞、小野田の田植踊、柳沢の焼け八幡などは、県指定の無形文化財にも指定されている。伝統を守り、地域文化が継承されている反面、新しい地域文化の創造を目指し、「バツホル」や「やくら文化センター」「切込焼記念館」などの施設の整備が図られ、特色ある文化活動が行われています。

人口は平成30年6月で23,442人です。

研修 地域新電力についての説明を受ける。

地域新電力とは、自治体と民間企業が共同出資で立ち上げる新電力会社のことで、町内で電力を調達し、町内の公共施設や民間企業などに電力を供給することである。現在地域新電力会社は全国で30社程度存在しています。加美町では、(株)かみでん里山公社を設立し、目的である「エネルギーの地産地消」「電気料金の削減」「利益のまちづくり事業への活用」に向かって、

動き出したところです。平成30年8月より、32の公共施設に対し、契約電力約2,500kWの電力供給をスタートさせ、年間電力量約410万kW、約300万円の電気料削減を見込んでいる。今後の事業展開は、町との連携事業促進、たとえば「地域のエネルギー事業、まちづくり事業やインフラ施設管理運営事業などの担い手として、地域に貢献していく。

視察研修・研修会等報告書

議席番号 () 議員名 ()

1 年 月 日 (日数 泊 日)

2 場 所

3 視察、研修事項

4 面 接 者

5 視察研修、研修会の成果

『所感』

加美町は、矢板市と違い、交通の便があまり良くありません。そして、矢板市以上の人口減少に直面している町です。新電力会社による電気料金を削減するという説明を受けましたが、電気料が半額になるとかではないと、民間企業の誘致に結びつかないと思います。

私は基本的に民間で出来ることは民間で、今まで公共がやっていたことも民間の方が効率的であれば、民間に取り組んでいく。用→様、かも、まち全体の活性化につながると思います。ただ加美町の用な地域では、いろいろの可能性のあるものに、挑戦していく必要があるのも事実だと思います。あらためて、矢板市が恵まれた地域であると感じました。

視察研修・研修会等報告書

議席番号 (3) 議員名 (櫻井 恵二)

1 年 月 日

(日数 / 泊 2日)

2 場 所 30日 山形県米沢市

3 視察、研修事項 道の駅米沢「第3セクター方式による運営」について

4 面 接 者 駅長 坂川好則

5 視察研修、研修会の成果

米沢市は地元住民、経済界、置賜地域の市町、県等と一体となって追加のインターチェンジ設置を要望し、米沢中央インターチェンジが主要地方道米沢高畠線に接続・設置されることとなった。このため、SA、PAの代替施設として、一般道路、高速道路を含めた道路利用者のための休憩、情報発信、地域連携機能を併せ持った道の駅を同インターチェンジ付近に設置することとした。管理、運営は米沢市と30の企業、団体が出資する第3セクター株式会社アクセスよねざわが行う。道の駅建設事業への市民の参加意識を盛り上げるため、経費22億円のうち2017年度の市負担分の範囲内で住民参加型の公募債を発行し、建設費の一部に充当する方針です。

今年4月20日にオープンし、既に売り上げ6億に上り来場者も80万人に達しています。売り上げの構成比率は物産品40%、農産物25%、フードコート30%、その他5%。このこと、中にはセブンイレブンがありこれも運営している。

「所感」 米沢市だけの問題でなく全国どこでも、道の駅内に店を出せるのは、地元の有力店、非営企業です。資金力が弱い若者が、もと、出店できる道の駅にするべきと思います。例えば、軽トラの飲食店など、条件は、矢板に住んでもらう、そこにおいしい味の店を最低条件で、若者にチャンスがある道の駅にすることが、若者にチャンスのある矢板市になっていくのではないかと、人口減少対策の一つにもなるのでは。